



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月4日

上場会社名 ビジネスエンジニアリング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4828 URL <https://www.b-en-g.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 羽田 雅一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営統括本部長 (氏名) 別納 成明 (TEL) 03-3510-1600  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,286	0.2	1,646	25.1	1,651	24.9	1,093	50.9
2020年3月期第3四半期	13,255	21.1	1,316	60.0	1,322	61.9	724	37.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,253百万円( 56.7%) 2020年3月期第3四半期 799百万円( 72.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	185.07	—
2020年3月期第3四半期	123.37	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,482	6,039	63.7
2020年3月期	8,593	5,033	58.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,039百万円 2020年3月期 5,033百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	19.00	—	26.00	45.00
2021年3月期	—	22.00	—		
2021年3月期(予想)				48.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	0.4	2,000	27.1	2,000	26.8	1,350	58.2	228.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	6,000,000株	2020年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	84,843株	2020年3月期	104,690株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	5,908,068株	2020年3月期3Q	5,872,581株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数については、従業員持株会信託の保有する当社株式を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるものの、企業収益や業況感は大幅な悪化から徐々に改善しており、景気は基調として持ち直しています。

情報サービス産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大があるものの、顧客のデジタル変革(DX)に対する投資意欲は底堅く推移しています。

このような状況のもと、当社グループは、コンサルティングサービス、ソフトウェア製品、システム構築、運用・保守サービス、クラウドサービス等の提供を通じて、顧客のデジタル変革(DX)や経営課題解決に貢献する付加価値の高いソリューションの提供に努めました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の5項目すべて、第3四半期(累計)の過去最高を3期連続更新いたしました。

受注・売上につきましては、ソリューション事業の受注およびプロダクト事業のライセンス販売が好調だったことなどから、受注高13,611百万円(前年同四半期比3.9%増)、売上高13,286百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。利益面につきましては、プロダクト事業のライセンス販売およびシステムサポート事業の生産性向上等の寄与により、営業利益1,646百万円(前年同四半期比25.1%増)、経常利益1,651百万円(前年同四半期比24.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,093百万円(前年同四半期比50.9%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## ①ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客の課題解決に貢献する複合型ソリューションの提供を推進し、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。当セグメントの受注高は9,718百万円(前年同四半期比15.4%増)、売上高は9,034百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

## ②プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「mcframe」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力の強化に取り組みました。当セグメントの受注高は3,659百万円(前年同四半期比16.2%減)、売上高は3,977百万円(前年同四半期比2.8%減)となりました。ライセンス売上高は2,157百万円(前年同四半期比4.8%増)となり、第3四半期(累計)の過去最高を連続更新いたしました。

## ③システムサポート事業

ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は233百万円(前年同四半期比24.5%減)、売上高は275百万円(前年同四半期比19.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

流動資産につきましては、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して699百万円増加し、6,868百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は72.4%であります。

また、固定資産につきましては、投資有価証券の時価評価による投資その他の資産の増加、無形固定資産の取得が無形固定資産の減価償却額を上回ったこと等により、前連結会計年度末と比較して188百万円増加し、2,613百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して888百万円増加し、9,482百万円となりました。

## (負債の部)

負債の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、賞与引当金の減少、支払手形及び買掛金の増加等により、前

連結会計年度末と比較して117百万円減少し、3,443百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる増加、剰余金の配当による減少、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末と比較して1,005百万円増加し、6,039百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して5.1ポイント増加し63.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2020年5月14日公表の業績予想を修正いたしました。売上高は過去最高を3期連続更新する見込みであり、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益はともに過去最高益を5期連続更新する見込みです。

また、通期の業績見込みを踏まえまして、2021年3月期の期末配当予想を1株につき23円に対し25円増配し、1株につき48円に修正いたしました。これにより、2021年3月期の年間配当金は1株につき70円(2020年3月期年間配当金45円)と6期連続増配となり、過去最高となる見込みです。

詳細につきましては、本日別途開示の「2021年3月期 通期(連結・個別)業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」および「2021年3月期 配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,159,577	3,308,244
受取手形及び売掛金	3,233,222	2,642,438
仕掛品	288,986	564,289
その他	486,744	353,196
流動資産合計	6,168,530	6,868,167
固定資産		
有形固定資産	142,626	132,471
無形固定資産		
ソフトウェア	1,225,005	1,275,168
その他	3,282	2,405
無形固定資産合計	1,228,288	1,277,573
投資その他の資産		
その他	1,059,592	1,209,413
貸倒引当金	△5,499	△5,499
投資その他の資産合計	1,054,092	1,203,913
固定資産合計	2,425,006	2,613,959
資産合計	8,593,537	9,482,126
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	550,956	703,731
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	7,910	—
未払法人税等	373,805	317,637
前受金	709,753	809,314
賞与引当金	679,520	328,052
役員賞与引当金	35,000	—
品質保証引当金	17,145	17,267
その他	1,086,225	1,267,032
流動負債合計	3,560,317	3,443,037
負債合計	3,560,317	3,443,037
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	697,600	697,600
資本剰余金	448,901	448,901
利益剰余金	4,096,154	4,905,635
自己株式	△185,386	△149,339
株主資本合計	5,057,269	5,902,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,717	140,008
為替換算調整勘定	△4,332	△3,716
その他の包括利益累計額合計	△24,050	136,291
純資産合計	5,033,219	6,039,089
負債純資産合計	8,593,537	9,482,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	13,255,267	13,286,559
売上原価	9,207,883	9,070,487
売上総利益	4,047,383	4,216,071
販売費及び一般管理費	2,731,163	2,569,325
営業利益	1,316,219	1,646,745
営業外収益		
受取配当金	7,241	6,361
助成金収入	—	2,507
その他	733	1,161
営業外収益合計	7,975	10,031
営業外費用		
支払利息	1,428	1,942
為替差損	259	2,744
その他	118	464
営業外費用合計	1,806	5,151
経常利益	1,322,388	1,651,626
特別損失		
投資有価証券売却損	297	—
投資有価証券評価損	147,247	—
特別損失合計	147,544	—
税金等調整前四半期純利益	1,174,843	1,651,626
法人税等	450,329	558,213
四半期純利益	724,513	1,093,412
親会社株主に帰属する四半期純利益	724,513	1,093,412

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	724,513	1,093,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,688	159,725
為替換算調整勘定	△1,318	616
その他の包括利益合計	75,370	160,341
四半期包括利益	799,883	1,253,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	799,883	1,253,754
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(従業員持株会信託型ESOP)

当社は、2018年3月より、中長期的な企業価値の向上と福利厚生の拡充を目的としたインセンティブ・プラン「従業員持株会信託型ESOP」を導入しております。

1. 取引の概要

従業員持株会信託は、信託の設定後約5年間にわたり「B-EN-G社員持株会」(以下、「持株会」という。)が取得すると合理的に見込まれる数の当社株式を市場から一括取得し、持株会が定期的に行う当社株式の取得に際して、当社株式を持株会に売却いたします。

なお、信託が保有する自社株式については、当第3四半期連結会計期間末までに全て売却済みであります。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度36,520千円及び20,000株、当第3四半期連結会計期間においては該当事項はありません。

3. 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度7,910千円、当第3四半期連結会計期間においては該当事項はありません。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症に伴う不確実性は残るものの、当社グループへの影響は軽微と仮定しております。当第3四半期連結会計期間末時点において会計上の見積りに重要な影響はありません。